



大阪府交野市

「安心して、ほんとうに美味しい野菜を、自然の力で育てたい」その理想からスタート

のむらふあーむかぶしきがいしゃ
野村ファーム株式会社

WEB サイト： <https://www.nomura-k.co.jp/farm/>

参入法人の概要

法人形態：農地所有適格法人

代表者名：野村 健二

所在地：大阪府交野市南星台3-6-17（農園）

設立年次：平成30年4月

資本金：300万円

親会社：野村工務店株式会社

営農形態：露地栽培、施設栽培

主要作物：パクチー、原木しいたけ

経営面積：200a（うち所有24a、借入176a）

主な販売先：グループ会社、直売所、百貨店等

売上額：700万円（農業売上高）

従業員：3名（常勤1名、非常勤2名）

●農業に参入した目的を教えてください

親会社である野村工務店株式会社は大阪府交野市に所在し、建設業・不動産業を行っている会社です。

飲食事業に参入するにあたり、農薬や化学肥料を使わない、美味しく安心して食べられる野菜を使いたかったことや、朝採れ野菜をその日のうちに提供したいとの思いがあり、そういった野菜を自ら栽培するために当社を設立しました。

●当該土地を選んだ理由を教えてください

グループ会社の飲食店舗に朝採れ野菜をその日のうちに鮮度の良い状態で配達できるエリアがあり、かつ、親会社の所在地で地域との繋がりがあることから交野市に設立することとし、平地に比べ昼夜の気温差が大きく、美味しい野菜を栽培できる高台に農園を開設しました。

●当該作物を選んだ理由を教えてください

パクチーは、グループ会社のベトナム料理店で提供するため栽培しています。パクチーを主とした野菜は、植物性のたい肥やもみ殻、牡蠣殻、鶏ふんを使い、農薬や化学肥料を使わず、環境に配慮した栽培を行っています。また、当農園では、汲み上げた井戸水を池に流して金魚や鯉等を飼育しており、こうすることで生じた有機養分が含まれる水を野菜作りに使用しています。



原木しいたけ栽培の様子

原木しいたけは、実家が栽培農家だった代表者が栽培方法を熟知し、美味しさを実感していたことから栽培しています。当農園では、自然の雨や風、落ち葉等による自然本来の力にまかせて栽培したいとの思いから、竹林の中にほだ木を並べ、人工的な管理は一切省き、自然環境のまま育てています。

●参入にあたって栽培技術面等の課題にどのように対応されましたか

無農薬栽培に取り組みたいと考えていましたが、それまで農業について本格的に学んだことはなかったことから、有機栽培課程のある農業大学を探して通い、基礎となる栽培技術を習得しました。また、パクチーの生産量が多い岡山県や静岡県に定期的に出向いて生産者から栽培技術を学ぶとともに、有機農業に取り組む生産者の会合等に参加し、情報収集も行っています。

なお、今年の10月頃に有機JASの認証を取得する予定です。

●販売先、販路についてはどのように確保されましたか

主な販売先は、グループ会社のベトナム料理店やパン工房ですが、直売所やスーパー等にも直接出向き、販路を開拓しました。金融機関からの紹介やSNSの反響から取引に繋がることもありました。

●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

ある程度の農業の実績がないと金融機関から融資を受けることが難しく、当社は、親会社のバックアップにより農業参入できましたが、先行投資ができなければ農業に参入できないと感じました。

グループ会社は、農業、建設業、飲食業を行っており、結果的にグループ内で取引することができ、宣伝効果にもなっています。また、地域貢献（地域活性化等）にもなると感じています。

●今後の経営方針について教えてください

現在、原木しいたけのオリーブオイル漬け等の加工品も製造しており、商品数を増やし、6次産業化にも力を入れていきたいと思っています。また、農地面積を増やし規模を拡大していくとともに、将来的には、予約制の観光農園を開設し、農園で採った野菜等をその場で食べられる施設（農家レストラン）を運営できればと考えています。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

農業参入には、ある程度の準備期間（3～5年）が必要です。また、参入後、黒字経営を実現化するためには、栽培技術を早く習得し、失敗を極力減らすことが重要だと思います。

農業（野菜づくり）は面白くて楽しいし、ストレスの発散にもなり、心が健康になります。また、農業参入は、企業の雇用維持にもつながります。



農園の風景



パクチーを収穫する様子